

鶴ヶ谷はぐくみ保育園 園だより 7月号

令和6年7月
鶴ヶ谷はぐくみ保育園

今年は例年より遅い梅雨入りとなりましたね。蒸し暑い梅雨にも負けず、子ども達は七夕にプール、夏あそびの会など夏の行事を楽しみに元気に過ごしています。また、玄関前に植えた野菜の生長を毎日観察し、大ききのくらべっこをしたり水やりのお世話も熱心です。来月に行く“夏野菜パーティー”では自分達で育てた採れ立ての野菜を調理したり、皆でおいしく楽しく食べることを楽しみにしています。見て、触れて、嗅いで、味わってと五感を研ぎ澄ませながら様々な発見や驚きに共感し、食育活動をすすめていきたいと思っています。

7月の行事予定

- 3日(水) 避難訓練(地震・火災想定)
- 5日(金) 七夕誕生会
- 8日(月) 体操教室(3歳以上児クラス)
- 10日(水) まなびタイム(けやき組)
- 11日(木) 竜巻突風訓練
- 19日(金) 夏あそびの会

- ※6/24(月)~7/5(金) けやき組個人面談
- ※7/16(火)~7/26(金) いちょう組個人面談
- ※7/29(月)~8/9(金) れんげ・たんぼぼ組個人面談

8月の行事予定

- 2日(金) 夏野菜パーティー
- 3日(土) 避難訓練(地震・火災想定)
- 19日(月) 体操教室(3歳以上児クラス)
- 21日(水) まなびタイム(けやき組)
- 22日(木) 台風・水害訓練
- 28日(木) 誕生会



おばけキュウリを収穫したよ★

先日、あじさい組が植えたキュウリがぐんぐん大きくなりました。早速みんなで収穫し、自分の腕より太いキュウリを目の当たりにし「おばけきゅうりだ〜！」と驚きを隠せない様子の子も達！

栄養士の玲奈先生に美味しく調理してもらえるように手を合わせてお願いをしていました。キュウリをサラダにして

もらい大喜びで食べたり、実際に手でちぎって匂いや感触を味わいお店で売っているものとの違いに気づくなど様々な体験が出来ました。



美味しい
キュウリの
給食にしてね

わー！
でっか〜い



見てみて！
腕よりふと〜
い!!



夏あそびの会



7月19日“お祭り”をテーマに夏あそびの会が開催されます！

オープニングでは、皆で『アラレちゃん音頭』を踊ったり、けやき組が民謡『りんご節』を唄います。各クラスでは“焼きそば屋さん”や的あてのコーナー、感覚あそびの部屋など楽しい企画が目白押し☆

当日まで異年齢のグループで準備をすすめ、交流を深め合い、楽しいひとときを過ごしたいと思います。



おねがい

朝、パンやお菓子を食べながら登園してくるお子さんをお見かけします。園内には、アレルギー児のお子さんや乳児も居ますのでパンやお菓子を手に持ちながらの入室は堅くお断りしております。ご理解とご協力をお願いいたします。



引き渡し訓練 ご協力ありがとうございました。



「はらぺこ
おはげくん」の
パネルシアター



今度は
体を動かそうよ



先月の引き渡し訓練では、日中に火災想定避難訓練を行い、夕方から保護者の方々のご協力の基、引き渡し訓練を行いました。

今回は、パネルシアターやクイズを楽しみながら全園児ホールでお迎えを待ちました。トイレに行く際の配慮や、電気、ガスなどが止まった場合はどのように対応したら良いかなど、様々な想定を視野に入れ、今後も、訓練を重ねていきたいと思ひます。子ども達の命を守り、より安全に保護者の方々へ引き渡しできるよう対策を検討して参りますので引き続き、ご協力をお願い致します。

避難用防災頭巾を被ってみました



どんな時に
これを被る
かな？



ふかふか
だね～

地震の
時だよ！

災害時に備え、防災頭巾を購入しました。ホールで防災頭巾について話をすると「地震の時に被るやつ!!」や「頭を守らなきゃいけないから被るんだよ」など子ども達から沢山の意見が聞かれ、防災について、意識が高まりつつあると感じました。

園で毎月行っている避難訓練時にも災害の想定に合わせて活用し、子ども達に自分の身は自分で守ることの大切さや防災意識の育成を行っていききたいと思ひます。

親子で楽しみました！ 保育参観（いちょう組）

保育参観は親子で『パラシュート作り』を楽しみました。「ママの顔を描いてあげる!」「可愛く描いてね♡」などワイワイおしゃべりしながら、お家の人に難しいところを手伝ってもらい完成!!

出来た作品を早速飛ばして、出来栄を確認しました。その後、グループ毎にパラシュート飛ばし大会を開催し、着地の点数を競ってお母さんに抱っこしてもらったり親子でふれあいながら楽しいひとときを過ごしました。



黄色に
しよっかー

やった!
100点



ハハ
上手だね



懇談会のグループトークでは
①子育てほっこりエピソード
②いちょう組で育てほしいところの2つをテーマにしグループで話し合っていました。「ほっこりと言えるか分かりませんが…」と前置きをつけてお話し下さった内容は、「一緒に寝るとき兄の方を向いて寝ている私(母)の顔をグイッと自分の方に無理やりむかせて寝ようとするところです」と、とてもほっこりするエピソードを聞かせて頂きました。保護者者の皆さんから話題に上った内容をまとめてクラスに掲示してありますのでゆっくりご覧ください。

こどもの熱中症を防ぐポイント

暑さが本格的になると、条件次第で誰でも熱中症にかかる危険性がありますが、特に子どもは地面からの照り返しや体格上の特徴から大人よりも熱中症のリスクが高くなります。熱中症の正しい予防方法を知り、子どもの体調を観察することで十分防ぐことができます。下記のポイントに気をつけ大切なお子さんを熱中症から守りましょう。

- (1) 水分を多めに摂ろう
新陳代謝が活発なため汗や尿として排出され脱水を起こしやすいのでこまめな水分補給を心掛けましょう。
- (2) 熱や日ざしから守ろう
放熱や発汗による体温調節がうまくできません。熱のこもらない素材等の衣服を選んだり、帽子を被せたりさせましょう。
- (3) 地面の熱に気をつけよう
背が低く、ベビーカーの利用などで地表からの熱を受けやすくなります。子どもの高さの気温や湿度を気かけましょう。
- (4) 暑い環境に置き去りにしないようにしましょう
乳幼児を「寝ているから」ちょっとの間だからと放置することは危険です。特に、車内に置き去りにすることは絶対にやめましょう。
- (5) 室内あそびも油断しないようにしましょう
日差しがない屋内では大丈夫だろうと油断しがちです。屋外と同じ対策を意識しましょう。
- (6) 周りの大人が気にかけてよう
暑さや体の不調を、言葉で十分に訴えることが未熟な為汗や体温、顔色や泣き方など、子どもの様子を、大人が気にかけてましょう。

